

会 議 議 事 録

会議等の名称	令和5年度第1回磐田市子ども・子育て会議
担当部課名	こども部こども未来課
開催日時	令和5年12月15日（金） 14:00～15:30
開催場所	豊田支所 大会議室
出席者	<p>出席委員（敬称略10人）</p> <p>鈴木敏弘、鈴木恵、奥田真理子、松野裕貴、川合英恵、山田善彦、竹内直樹、瀬川真紀子、中原未歩、猪原裕子</p> <p>事務局（12人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども部長 鈴木壮一郎 ・こども部 幼稚園保育園課 課長 清水大輔、課長補佐 伊藤里香、運営支援グループ 主査 鈴木良幸 こども未来課 課長 佐原直美、課長補佐 山下正輝 発達相談グループ 主査 青木明博、 子育てサポートグループ 主査 藤田昌弘 こども・若者相談センター長 和久田徹 ひと・ほんの庭 にこっと 館長 兼子順子 総務・給付グループ 主査 影山正樹 放課後活動課 児童クラブグループ 主査 土井雅哉
議題	<p>(1) 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度進捗状況について</p> <p>(2) こども計画策定スケジュールについて</p> <p>(3) 幼稚園・保育園・こども園の利用定員の変更について</p>
配付資料等	<p>資料1 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画 施策評価シート</p> <p>資料2 こども計画の策定について</p> <p>資料3 利用定員の変更（案）について</p> <p>その他（1）県立特別支援学校建設に伴う周辺幼保園の再編について（案）</p> <p>その他（2）子育て支援センター（見付地区）について</p> <p>その他（3）こども家庭センターについて</p>

1. 開 会

2. 議題等

副会長

議題1「第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度進捗状況について」です。事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料1 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画 施策評価シート】
【事前質問】

副会長

それでは、只今の件につきまして、令和4年度の実施状況、今後の方向性に関しまして、ご意見ご質問などありましたらお願いいたします。

【質疑なし】

副会長

次に、議題2「こども計画策定スケジュールについて」です。事務局から説明をお願いします。

【資料2 こども計画の策定について】

副会長

それでは、只今の件につきまして、質問や意見などをお願いいたします。

副会長

子ども達からの意見聴取や実態調査は、どんな方法で実施しますか。

事務局

インターネットでの調査です。小・中学生は学校で使用しているタブレットで回答、保護者は学校からメールでURLを送ってもらい、そこから直接回答できるようにします。

副会長

ありがとうございました。

次に、議題3「幼稚園・保育園・こども園の利用定員の変更について」です。事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料3 利用定員の変更（案）について】

副会長

それでは、只今の件につきまして、質問や意見などをお願いいたします。

委員	<p>職員の確保が難しいという理由で3園が定員を減らしていますが、定員を増やす園については、職員の確保ができるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現状の職員数でも受け入れできる範囲であり、問題ないと聞いています。</p>
副委員長	<p>出生数の減少と職員確保の難しさという説明がありましたが、公立園の正規率は約47%と記憶しています。私立園の正規率も同じくらいなのでしょうか？</p>
事務局	<p>公立園の正規率は、短時間勤務の職員を含んだ数値です。子どもに寄り添う手厚い保育体制を整えるために、担任とは別に支援のための職員を多く配置しているため、このような数字になっています。</p> <p>私立園についても同様かと思いますが、公立園の方が非正規職員の割合が多い傾向にあるかもしれません。</p>
事務局	<p>少し補足しますが、正規職員の率が高ければ良い運営かというところではなくて、実は多くの皆さんのお力を借りながら園の運営をしています。例えば、お子様がいる方でも少しなら働けるので力を貸したい、収入を得たいという方は、短時間労働を希望されますので、そういう方の働く場所の確保という意味でも、雇用を生み出すという意味でも、短時間の方の労働力も有効に活用し、正規職員もしっかり働ける環境を整えていく。そういうことでバランスをとりながら運営しています。各園、公立、私立の運営の方法や理念、考え方それによって若干違いますが、皆さんの力を借りて園を運営しています。</p>
委員	<p>正規職員の数には園によって様々で、非常に少ない園もあれば、十分な園もあると聞きます。ただ、支援が必要なお子さんに細やかな対応ができるよう、短時間の保育士を多く入れる体制をとれば、正規率は下がってくるようになりますので、正規の割合が高いからいいとは単純には言えないと思います。</p> <p>また、12～13時間と長時間開所する保育園については、シフト勤務の負担が正規職員にかかってくることから、正規職員の確保には大変苦労していると聞きます。</p>

委員	園から、職員不足が理由で早朝保育の受入れが難しいと言われた経験があります。会社の理解を得ることができたので何とかやりくりできましたが、非常に厳しかったです。ただ、働く先生方にも、それぞれの家庭や生活があると思うと、無理はお願いできないとも思いました。職員の確保は大きな課題だと思います。
委員	保育士や幼稚園教諭の免許をとっても、一般企業に勤めてしまう学生が多いと聞きます。夢をもって保育の学校に進学したが、実習を受けて挫折してしまう学生もいるようです。 若い世代が保育という仕事から離れてしまうことに不安を感じています。
3. その他 副会長	ありがとうございました。 次に、「幼稚園保育園再編計画について」、事務局より報告をお願いします。
事務局	【その他(1)県立特別支援学校建設に伴う周辺幼保園の再編について(案)】
副会長	続きまして、「子育て支援センター(見付地区)について」、事務局より報告をお願いします。
事務局	【その他(2)子育て支援センター(見付地区)について】
副会長	続きまして、「こども家庭センターについて」、事務局より報告をお願いします。
事務局	【その他(3)こども家庭センターについて】
副会長	ありがとうございました。全体を通して皆さんから質問やご意見がありましたらお願いします。
委員	子育て支援センター(見付地区)を幼稚園内につくるということですが、感染症が園等で流行した場合、子育て支援センターは閉鎖するのかどうかお聞きしたいです。
事務局	園の中にある施設なので園としっかりとコミュニケーションをとりながら、運営していきたいと思います。感染症が広がっ

た場合、当然リスクも上がってくるので、保育室に感染症が広がっているか現状も踏まえながら、しっかり検討していきたいと思います。

委員

入り口は同じなのですか。

事務局

入り口は別です。

委員

私は不登校支援や発達障害の子が集まれる場所の活動をしていますが、子どもの保護者からたくさんの切実な声が届きます。

例えば、市役所ではいろんな相談窓口を用意してくれてありがたいが、どこに相談していいかわからない、相談するためにはハードルが高いので何か手軽に相談できるような窓口や方法がないかということをよく聞きます。LINE等で自分はこんな事で困っていると言うとどこかに導いてくれるような仕組みがあると相談がしやすくなります。せっかく新しい子ども家庭センターをつくるのであれば、そういうシステムを取り入れていただきたいです。

また、ペアレントメンター制度というのを導入していただきたい。例えば発達障害のお子さんを持つ保護者の方がアドバイザーとなり相談相手にいてくれると同じ気持ちが分かる人なのでとても相談しやすい。今後の取組みとして市で実施していただきたいと思いました。

事務局

確かに気軽に相談できるということは非常に重要なことです。来年度こども家庭センターが出来て、子どもの相談等はここに一元化されるわけですが、市民が一步踏み出すためには、先ほどおっしゃられたようなLINEなりいろいろな媒体を使うことが非常に重要だと思っています。気軽に相談できて身近な相談場所になることをコンセプトに検討していきたいと考えています。

事務局

補足です。ペアレントメンターの件ですが、障害児福祉計画の中でペアレントメンターについて記載している部分があるのですが、県からの要請状況を把握しながら検討をしていかなければいけない課題の一つだと認識しているため、今後考えていきたいと思います。

そして、市役所への相談のハードルが高いという点は、本当にそうだと思います。磐田版ネウボラということで妊娠期から子育て家庭に保健師をつけた寄り添い型支援を昨年度から始めたところで、市役所への相談が身近に感じていただけるようにする取組の一つとして行っています。母子保健ではオンライン相談も実施していますので、DXの推進もあわせて今後考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

副会長

では、予定の時間も経過いたしましたので、以上をもちまして本日の議事・協議を終了させていただきます。

限られた時間の中、皆さんから貴重なご意見をいただき、また会議の進行にご協力をいただき誠にありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

事務局

ご協議・ご意見ありがとうございました。

次回の会議ですが、3月頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

事務連絡は以上となります。

以上で、令和5年度第1回磐田市子ども・子育て会議を終了させていただきます。ありがとうございました。